



NEWS RELEASE

2025.5.26

「カーボンニュートラル」達成に向け「コーポレートオフサイト PPA」を導入 再生可能エネルギーの普及拡大に向けた実証実験も実施

日清食品ホールディングス株式会社（社長・CEO：安藤 宏基）は、自社の敷地外に設置した再生可能エネルギー発電設備で発電された電力を小売電気事業者から調達する「コーポレートオフサイト PPA」を 2025 年 6 月から導入するとともに、電力の需要量と供給量を 1 時間単位で一致させる「アワリーマッチング（hourly matching）^{*1}」に関する実証実験を関西電力株式会社（取締役代表執行役社長：森 望）と共同で実施します。

「コーポレートオフサイト PPA」を導入し、再生可能エネルギーを継続的に調達

日清食品グループは、環境戦略「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」において CO₂ 排出量の削減目標を定め、2050 年までに CO₂ 排出量と吸収量を“プラスマイナスゼロ”にする「カーボンニュートラル」を達成することを目指して、さまざまな気候変動対策に取り組んでいます。

今回導入する「コーポレートオフサイト PPA」では、太陽光パネルで発電された再生可能エネルギーを関西電力から継続的に調達し、日清食品株式会社の関西工場と滋賀工場で使用することにより、年間約 1,600t の CO₂ 排出量削減につなげます。

また、「コーポレートオフサイト PPA」の導入にあわせて、関西電力と「アワリーマッチング」の実証実験を開始します。日清食品の関西工場と滋賀工場における電力の需要データと関西電力の発電施設における 1 時間ごとの発電状況に関するデータを組み合わせ、両工場に供給される電力の発電量と発電時に発生する CO₂ 排出量の関係性を関西電力が分析します。その結果を元に、日清食品グループの製造工場における電力使用を 1 時間単位で最適化する方法^{*2}を検証していきます。

日清食品グループでは、「コーポレートオフサイト PPA」を国内事業会社の製造工場に順次導入することで、気候変動対策への取り組みを加速させるとともに、「アワリーマッチング」のような新たな手法を積極的に取り入れることで、「カーボンニュートラル」達成を目指していきます。

^{*1} 温室効果ガス（GHG）排出量に関する算出や報告の国際基準を提供する GHG プロトコルにおいても議論されるなど、世界的に注目されている手法。

^{*2} 余剰電力を別の時間帯に活用するための蓄電装置の導入や、再生可能エネルギーの供給状況に合わせた生産スケジュールの調整などを検討しています。